

第5回会議資料

地域大学の これからについて

Miraiプロジェクトの経験から

山梨大学 生命環境学部 3年
雨宮綾南

[目次]

- 01 Miraiプロジェクト概要**
- 02 ヒアリングから
—参加団体・地域住民**
- 03 ヒアリングから
—大学生・高校生**
- 04 取り組むべき課題**
- 05 授業の周知・拡大**
- 06 学生広報スタッフの活用**
- 07 交流機会の創出**
- 08 まとめ**

[Miraiプロジェクト概要]

地元企業・団体×大学生

企業や団体のニーズや課題に基づいて、
学生と協働で行うプロジェクト

- ・社会との新たな繋がりを築くことができる
- ・社会で役に立つ実践力を身に着けることができる

プロジェクト例

- ・産業観光ツアーの造成
- ・こぶちさわすずらん祭りの運営
- etc…

山梨県内の様々な大学から参加可能
プロジェクト内容も幅広い
年々プロジェクト数・参加学生が増加

ヒアリングから 参加団体・地域住民

▶ 学生の存在価値

- ・学生だからこそその斬新なアイデア
- ・高齢化社会の地域に学生による活気が生まれる
- ・興味関心を持った学生による積極的な参加

▶ 地方・地域への関心

- ・地域活動に関心のある学生の存在
- ・プロジェクトをきっかけに地域を知る
- ・地域の抱える問題や住民との交流

▶ 学生の意見や活動

- ・フレッシュな感覚・感性、若い発想が足りていない
- ・若者を呼ぶためには、同じ目線の若者の意見
- ・交渉事や次年度以降の継続の難しさ

▶ 地域住民と学生の交流機会

- ・地域住民と学生の交流の場が欲しい
- ・プロジェクトから地域へ興味を持ってほしい
- ・1年という活動期間の短さ

[ヒアリングから 大学生・高校生]

▶ 大学生/良かった点

- ・単位があるので最後までやり遂げられた
- ・地方創生など興味はあり良いきっかけになった
- ・他大学の学生と関わることができた

▶ 大学生/要望

- ・高校生ともっと交流する時間が欲しかった
- ・プロジェクトごとの差があった
- ・報告会など硬い場ではない相談会もあるといい

▶ 高校生/良かった点

- ・地域の活性化を感じるいい経験ができた
- ・大学生という歳の近い方だったから楽しくできた
- ・なりたい人物像や進路のビジョンがはっきりした

▶ 高校生/要望

- ・大学生と気軽に関われる機会
- ・Miraiプロジェクトのような活動を高校生でも行ってみたい

取り組むべき課題

01

授業の周知・拡大

- ・授業内容の多様化
- ・情報の周知
- ・参加しやすい環境づくり

02

学生広報スタッフ の活用

- ・高校生の興味・関心
- ・大学生との交流機会
- ・高校生の活動参加意欲

03

交流機会の創出

- ・高校生×大学生
- ・地域住民×大学生
- ・企業・団体×大学生

授業の周知・拡大

様々な授業形態

関心のある学生に届けたい

現在すでにある他大学との連携科目・プロジェクト活動

- ・Miraiプロジェクト
- ・PENTAS YAMANASHI
- ・自発的教養科目
- ・大学アライアンスやまなし

大学生が
求めていること

分かりやすい
情報提供

他大学との
関わり

活動しやすい
相談環境

[学生広報スタッフの活用]

情報発信

高校生の興味・関心は何か？
SNSを活用した情報発信、発信内容の多様化

活動頻度

スタッフごとの偏り
発信内容や担当ごとのスタッフ間で情報共有

交流機会

顔を合わせた接点
高校生×大学生、大学生×新入生など、より近い目線の意見

[交流機会の創出]

高校生

×

大学生

-
- ・大学生をより想像しやすく
 - ・大学の敷居の高さ低くする
 - ・関わりやすい環境

地域住民

×

大学生

-
- ・地域へ関心を持つきっかけ
 - ・若者の存在による活気
 - ・新しい情報や斬新な発想

企業・団体

×

大学生

-
- ・若者視点の発想
 - ・関わりづらい大人と学生
 - ・社会経験

[まとめ]

**地域の特性である距離の近さを活かして
人と人との関りを密に行っていく**

- ・地方地域の良さである人と人との距離の近さ
 - ・閉鎖的になりやすい環境でもできる他大学との関り
 - ・地方創生や地域活動に興味がある人の活動促進
- 高校生・大学生など若年層と地域の距離を近くしていく

[参考資料]

- ・ Miraiプロジェクト

[Miraiプロジェクト | やまなし未来計画。 | やまなし未来計画。](#)

- ・ PENTAS YAMANASHI

[vol04-pentasmagazine.pdf](#)

- ・ 大学アライアンスやまなし

[大学アライアンスやまなし for students](#)

ヒアリングにご協力いただいた方々 計16名

- ・ こぶちさわすずらん祭り実行委員 7名
- ・ こぶちさわすずらん祭り参加高校生 2名
- ・ Miraiプロジェクト参加大学生 3名
- ・ 山梨大学生 2名
- ・ 地域企業・団体の方 2名

ご清聴ありがとうございました。

**ヒアリングにご協力いただいた
16名の方々へ
ありがとうございました。**

**2026年1月23日
山梨大学 生命環境学部 3年
雨宮綾南**